

理工学 メディアセンター ニュース



Information and Media Center
for Science and Technology
Newsletter

私の1冊

システムデザイン工学科

中澤和夫 先生

『視覚の文法:脳が物を見る
法則/ドナルド・D.ホフマン著』

配架場所: 創想ライブラリー



ロボットに視覚を実現しようとする
画像処理工学、信号処理工学など
が重要なツールとなるが、本書は心
理学的な視点を与えてくれる。

著者は視覚と脳の研究で有名な
David Marrの直弟子である。人の
脳の能力指数のIQやRI(Rational
Intelligence)は以前から知られて
いるが、心理学の分野ではEQ(Emo-
tional Intelligence Quotient)の
重要性が注目されている。

本書ではVI(Visual Intelli-
gence)について紹介している。VI
は、生得的に備わっているわけでも
成長の過程で発達する。その結果、
取得したVIにより人はどのようにもの
を見て解釈するのか解説しており、い
ろいろな錯視現象を解釈するのに面
白そうである。

Contents

10/26(水)ビブリオバトル開催	P.1
秋のセミナー案内	P.1
小展示:SF小説が空想する未来	P.2
製本雑誌移動中です	P.2
創想ライブラリーリニューアル	P.2

イベント

10/26(水)ビブリオバトル開催!

バトラーがお気に入りの本の魅力を熱く
語って競い合います。あなたが一番読み
たくなった本に投票してください。ビブリオ
バトルはバトラーだけでなく、会場にいる全
員が主役です。

皆様のご参加をお待ちしています!

【開催日時】
10月26日(水)18:00-19:00

【場所】
矢上キャンパス創想館 1階
理工学メディアセンター

【対象】塾生、教職員
※申込不要。直接会場にお越しください。

知的書評合戦
ビブリオバトル
観覧者募集

開催日時: 10月26日(水)
18:00-19:00
場所: 矢上キャンパス創想館1階
理工学メディアセンター
観覧申込: 不要

あなたの一票が
チャンプ本を決める!

お問い合わせ: 理工学メディアセンター
HP: <http://www.iactech.kyushu-u.ac.jp/>
E-mail: icr@iactech.kyushu-u.ac.jp

■ビブリオバトルとは?

- ①発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- ②順番に一人5分間で本を紹介する。
- ③それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2~3分行う。
- ④全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

昨年は、学部生・院生から職員まで5名のバトラーによって、児童文学の名作、哲学、壮大な時代小説から芸術家の自伝まで、多岐にわたるジャンルの本が紹介されました。今年はどうなる本のラインナップになるのでしょうか。

紹介された本は、後日メディアセンターで借りることができますので、こちらもご利用ください。

セミナー

秋のセミナー案内

論文情報の一括管理&引用文献リスト自動出力!

■ Mendeley活用セミナー

10/6(木)16:30-、10/12(水)10:45-

【所要時間】60分

【会場】メディアセンター地下セミナールームA

【申込】Webサイト > 申し込む

■ EndNoteX7活用セミナー

10/5(水)13:00-、10/14(金)10:45-

【所要時間】60~70分(途中退席可)

【会場】メディアセンター地下セミナールームA

【申込】Webサイト > 申し込む

化学系の研究に必須のツール!

■ SciFinder検索セミナー

10/12(水) 基礎編:13:00-14:00

ブラッシュアップ編:14:00-14:30

【会場】12-203

【申込】不要



企業分析・比較・ニュースチェック

■ 就活に役立つデータベースセミナー

10/13(木)18:15-19:15

【会場】創想館地下マルチメディアルーム

【申込】不要



メディアセンタークイズ

SS

何の記号でしょう？

答えは紙面のどこかに…

今月の1枚： 虫取り網



新学期とともに秋の虫が活動する季節がやってきました。自然豊かな矢上キャンパスでは、カマキリ、トンボ、ハチなどなど、色々な虫たちが図書館に入り込んできます。皆様の静謐な学習環境を守るのは我々図書館員の務めですから、そんな時には虫取り網を担いで虫たちと格闘します。そんな長年の格闘の結果、傷みが目立ってきた虫取り網をこのたび新調しました。館内で危険な虫を見かけた場合は、スタッフにお伝えください。ピカピカの虫取り網を担いで駆け付けます！ちなみにつかまえた虫たちは、矢上の自然に帰しています。

発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

TEL: 045-566-1477

FAX: 045-566-1486

E-mail: riko-info@lib.keio.ac.jp

Web : <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/>

Twitter : <https://twitter.com/scitechmkeio>

電子版は、ΣStarからご利用ください。

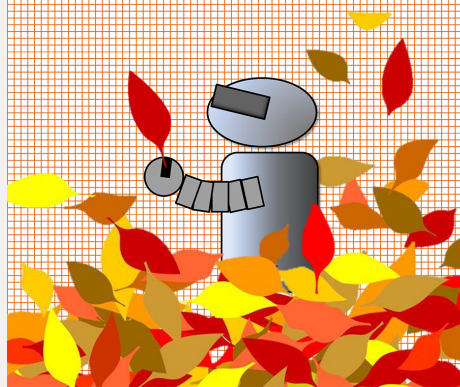
小展示

SF小説が空想する未来

慶應義塾大学理工学メディアセンター小展示

SF小説が 空想する未来

2016年10月3日(月)～11月30日(水)
理工学メディアセンター創想館1階



【期間】2016年10月3日(月)-11月30日(水)

【場所】理工学メディアセンター 創想館1階

読書の秋がやってきました。

奇想天外なアイデアによって想像力を刺激するSF作品に触れ、日常生活で凝り固まったアタマを柔らかくほぐしてみませんか？

120年前に書かれた、現代の遺伝子工学を予見させる生物創造の物語、未知の異星人との遭遇、人間に限りなく近づいたロボットの苦悩など、作家たちの発想と、架空の世界に読者を引き込む筆力は、一読の価値があります。

SF作品の魅力は、斬新なプロットだけに終わりません。未来を舞台としながらも現代社会を鋭く風刺し、架空の人物や生き物たちに現代人と変わらない人間の心を語らせるところにもおもしろさがあります。古典と呼ばれる作品が今なお新鮮さを失わないのは、そうした普遍性を持っているからではないでしょうか。

過去のSF作家も私たちと同じく未来への希望や不安を持ちながら彼らの時代を生きていました。未来を描くSF小説には、彼らの期待やメッセージが込められています。その声に耳を傾け、未来から現代を俯瞰する旅に出してみましょう。

お知らせ

製本雑誌移動中です

雑誌の配架場所をわかりやすくするため、本館2階の製本雑誌を別館に移す作業を行っています。移動作業は別館に配架されている雑誌への組み込み作業を伴うため、しばらく時間がかかる見込みです。

<製本雑誌の配架場所>

	移動前	移動後
山中資料センター1号棟(山梨県)	1980以前	1980以前
別館	1981-2000	1981-2006
本館2階	2001-2006	---
本館1階	2007以降	2007以降

なお、1981-2010の雑誌のうち、電子ジャーナル閲覧可のものは、山中資料センター2号棟(山梨県)にある場合もございます。

雑誌の所在がわかりにくくなるなどご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

コレクション

創想ライブラリーリニューアル

創想館1階にある“創想ライブラリー”には、研究や学習の合間に気軽に手に取れる専門書以外の本を揃えてありますが、この度、大幅入れ替えを行いました。

例えば、2016年本屋大賞で第2位を受賞し、今なおベストセラーとなっている『君の膵臓をたべたい』、Google社が実践したと話題の“マインドフルネス”について書かれた『サーチ・インサイド・ユアセルフ』など、新たに51冊が加わります。この機会に、あなたの読書リストに追加してみませんか？

皆様からの本のリクエストもお待ちしています。創想ライブラリーの書架上にカタログを用意しましたので、読みたい本に○を書いてください。あなたの「読みたい！」を叶えます。

なお、リクエストの中からスタッフで検討して購入しますので、ご希望に沿えない場合もあります。どうぞご了承ください。

理工学メディアセンター機関リポジトリ

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作者の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。(理工学メディアセンターWebサイトのボタンからΣStarに移動できます)



リコ☆ニュース購読受付中!

新サービス、データベースや電子ジャーナル、各種セミナーやイベントなどのお知らせをメールでお届けします。

こちらのQRコードか、理工学メディアセンターWEBサイトの「申し込む」メニューよりお申し込み下さい。

(対象:慶應義塾大学在籍者)



メディアセンタークイズ

答え：創想ライブラリー図書の本の背ラベルの最上段の記号です。理工学の専門図書がひしめくメディアセンターの中で、ちょっと研究を離れてひと息つける本が並んでいます。折しも読書の秋、専門書以外の本を手にとってみてはいかがでしょうか。思わぬアイデアが浮かぶかも！ですよ。